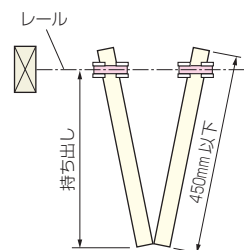


対応範囲について

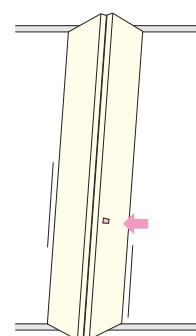
Q4 カタログでは、多くの機種で折戸1組の幅が900mm以下と記載されていますが、どのような理由があるのですか？

A4 折戸の幅が広すぎると戸を折った時(戸を開けた時)にレールからの持ち出しが大きくなり、スムーズな開閉操作ができなくなります。また、金具の劣化が著しくなってくる限界点が1枚あたりの幅が450mm付近であることが分かっています。そのため、使用条件を折戸1枚450mm以下、すなわち1組で900mm以下としています。



Q5 折戸の高さに制限はありますか？

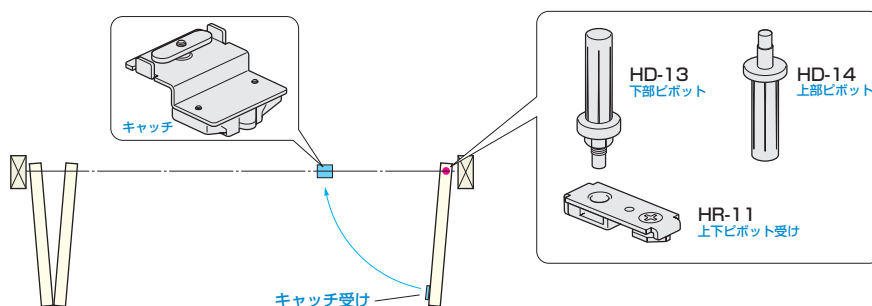
A5 使用条件に戸の高さ制限の記載がないシステムは、特に制限はありません。しかし、使用条件の戸幅・戸厚・総質量の制限を考慮すると、高さは必然的に1,800~2,300mm位に限定されてきます。また、フリーオープンタイプの場合、折戸の高さが高くなりすぎると、相対的に取手の位置が低くなり、折ったままの状態ですぐに戸を動かすときに、折戸が傾き、操作性が悪くなる場合があります。



金具の選択について

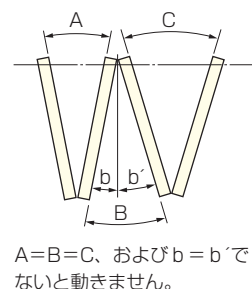
Q1 開口部が1,200mmあるため、折戸1枚の幅が450mmを超えてしまいます。このような場合に使える折戸金具はありますか？

A1 折戸1組で納めたい場合は、重量SDシステム(424ページ)を使用してください。また、折戸1組と開き戸1枚の組み合わせが使用可能な場合は、「HRシステム 軸吊りハンガー式 折戸+開き戸」(381ページ)か「AFDシステムの 折戸+開き戸」(399ページ)か「HDシステムの 折戸+開き戸」(405ページ)を使用してください。



Q2 折戸2組を連結して使用することができますか？

A2 使用できません。2組の折戸を連結して使用した場合、2組の折戸が同時に同角度で折れながら開閉する必要がありますが、そのようにはならないため、使用できません。



- ドア錠 1
- 丁番 2
- スライド丁番 3
- 開き戸金具 4
- 引戸錠 5
- 引戸金具 6
- 上吊式引戸金具 7
- 移動間仕切金具 8
- 折戸金具 9
- 室内用アルミ選 10
- 取手・引手 11
- スライドレールワイヤーバスケット 12
- 収納・吊金具 13
- その他の家具金物 14
- 物干金具・諸金具 15
- 真鍮アンティーク 16
- 設計施工ガイド
- 会社案内